

三重大学医学部附属病院

Part III

～この春から看護師～

ここにあなたの輝く場所がある

今年度、全国で新たに46,342人が看護師として誕生。4月から三重大学附属病院にも33人の新人看護師が就職してきました。

就職の決め手は、教育制度が充実、スペシャリストの育成に積極的、高度先進医療の現場など様々ですが、看護に対する思いや熱意は、みな同じ。今はまだ、新人として先輩看護師の指導や助言を受けながら勉強中です。

ステージUPのため
教育・研修システムが
充実しています。



自分を 生かせる職

～附属病院の看護師
として誇りをもって～



人間関係抜群の職場

患者様のほんの少しの快復に喜び、それを病棟看護師の皆で共有できるんです。患者様は、三重県中から「ここなら何とかしてもらえ」とやって来ます。求められることも大きいですが、ここで頑張れば、どこでも通用する看護師になると信じています。

脳神経外科病棟
看護師

小林 由起子
Kobayashi, Yukiko
(三重県立看護大学 卒)

高度先進医療 を学ぶ

～経験を積み、指導者
としての立場に～



整形外科病棟
看護師

森川 寛之
Morikawa, Hiroyuki
(三重大学 卒)

しっかりとした研修内容と
プリセプター※に支えられ

体育の教師を目指していましたが、高校3年の時に足の靭帯を切り手術・入院したのをきっかけに看護師の道に進みました。職場は、ハイスピードで、知識がついてこず不安になります。現在のところ、将来の姿は、模索中ですが、早く、病棟で使える看護師になりたいです。

※プリセプター：新人の相談役としてマンツーマンで支援にあたる先輩看護師

考えて動ける 看護師

～苦しんでいる人の手助けがしたい～



中央手術部
看護師

森田 智子
Morita, Tomoko
(日本赤十字
豊田看護大学 卒)

何でも話せる仲間がいる

手術部は、患者様とお話することが少ないという特殊な部署だともいます。毎日、手順や術式の違う手術が行われています。初めてのことでばかりで、緊張したり、戸惑ったりと、何も出来ない自分に自己嫌悪。そんな時、同じ悩みを持つ同期の人たちの励ましが、私を元気にしてくれます。



みんな
輝いてる

看護師として ステップUP

～いつの日か、
がん看護専門看護師に～

思った以上の
教育制度に満足

医療ソーシャルワーカーをしている時に看護師が患者様にとって大きな役割を果たしていることに気づき、看護師となることを決断しました。現場は、学校とは違い、一つひとつに責任が伴い、悩んでばかりです。でも、焦らず、無理せず、次のステップを目指して頑張ります。



内科病棟
看護師

本多 正繁
Honda, Masashige
(三重看護専門学校 卒)

看護する楽しさ

～仕事としての
看護に充実感を～

希望の職場で
チームの一員として

赤ちゃんが大好きです。赤ちゃんは、苦しみや痛みを言葉に出せません。ほんの些細なことが状態を大きく変えます。NICU※には、リスクのある赤ちゃんが搬送されてきます。責任は重大ですが、チームの一員として働く喜びを日々感じています。

※NICU：乳児集中治療室



周産母子センター
(新生児・分娩棟)
看護師

濱口 ゆりか
Hamaguchi, Yurika
(三重大学 卒)

看護師・助産師募集

医学部附属病院では看護師・助産師の募集を随時行っています。

●お問い合わせは●

三重大学医学部附属病院看護部
☎059-231-5183 又は
☎059-231-5184

あなたの
笑顔をお待ち
しています。



2008年度採用の新任看護師